

「ポーター賞」受賞の2社を通して、戦略的な意思決定について考える

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。私は6月17日に宇都宮大学の大学院で90分の授業を2コマさせていただきましたので、先週の「開倫塾の時間」ではその内容について少しお話をいたしました。今日は、その続きをお話させていただきます。
2. 担当させていただいたのは、地域創生科学研究科の150名近くの大学院生の皆様を対象にした「実践経営マネジメント概論」という講座です。

経営について考えるときに大事なのは、経営に関する基礎知識を身に着けることです。加えて、どのようにして戦略的な意思決定をするのかということも大事です。これは、経営に関して作戦を練って意思決定をし、会社の形・仕組みを維持していくことです。
3. 戦略論で一番有名なのはマイケル・ポーターという方で、その考え方は素晴らしいです。一橋大学の大学院では、ポーターさんの考え方に基づいていろいろな経営を評価しようと、「ポーター賞」という賞を設けています。私の知り合いの2つの会社がポーター賞を受賞していますので、授業ではそのことも紹介させていただきました。
4. 1つは、栃木県に本社があり、ベトナム、ミャンマー、ラオスに現地法人があるマニー株式会社です。私は2004年から2010年までの6年間、この会社の社外取締役を仰せつかり、一緒にポーター賞の申請をさせていただきましたので、少しわかっています。もう1つは、10分間でヘアカットを終了させるという、千円カットで有名なQBハウスです。この会社の社長である北野さんと友達なので、こちらもよく知っています。そこで、この2つの会社のお話をさせていただきました。
5. ポーター賞はどんな基準で取れるのかといいますと、各業界において優れた収益性を維持していることです。やはり、自分の担当する業界において売り上げを上げて利益を出さないと、会社はなかなか永続できません。ですから、マニー株式会社であれば精密機械の業界において優れた収益を維持している、QBハウスであれば理容業界において優れた収益性を維持していることが基準となります。実際に、QBハウスは栃木県にはまだ進出していないようですが、全国では500店舗ぐらいあり、高い収益性を維持しています。

6. 他の会社とは違う、独自性のある価値を提供していることも基準となります。わかりやすい例がQBハウスで、5つの手軽さをうたっています。その5つとは、予約なし・ヘアカットだけ・時間は10分・今は100円ほど値上げしたようですが、料金は千円・店舗は駅の中やショッピングセンターの中ということです。つまり、予約なしで、安い価格でヘアカットを、利便性の高い場所で短時間でできるというのが、QBハウスの素晴らしさだといわれています。

7. マニー株式会社は、前も紹介したかもしれませんが、心臓の手術に使う縫合針を1万種類ぐらい作っている会社です。また、世界で一番切れ味がよいといわれている白内障の手術用メスや歯根治療をするときに用いるダイヤモンドがついた細かいバーなども作っています。この会社のこだわりは、世界一の品質のものを作ろう・お医者さんにとって一番使い勝手のよい製品を作ろうということです。そのため、非常に独自性の高い製品が生まれています。

また、昨日よりも今日、今日よりも明日という戦略を支えるイノベーションが存在しています。例えば、客観的なデータをもとに、この製品が世界一かどうかを検証する会議を毎年2回開催しています。それから、部門ごとに毎月、同様の会議を開いています。このように、マニー株式会社は自社の製品が本当に世界一かどうかということにこだわりをもっている素晴らしい会社です。

8. 今週は、6月17日の月曜日に宇都宮大学のアカデミーホールで大学院生の皆様にお話をさせていただきました、ポーター賞を受賞したマニー株式会社とQBハウスについて紹介させていただきました。ポーター賞は約20年前に設けられ、大体1年に3社か4社ほど受賞しています。素晴らしい会社で行われていることがいろいろ勉強できますので、ぜひポーター賞のホームページを開いてご覧いただきたいと思います。カタカナの「ポーター」で検索できます。

大学院生も一所懸命に経営の勉強をしていますので、放送をお聴きの皆様もぜひ勉強をしていただければと思います。よろしく願いいたします。